



ネイチャーポジティブの実現と 地域循環に向けて — 世界から地方から、異なる視点を一つに —

気候変動や生物多様性の危機が叫ばれる今、私たちの暮らしの足元から自然を再生する道を探る時が来ています。本シンポジウムでは、国際的な専門家と地域の実践者が一堂に会し、「ネイチャーポジティブ」という新たな価値観のもと、自然資産の回復と地域循環の可能性を探ります。

日 時 令和8年1月30日（金）12:45～17:00

会 場 丹波の森公苑 ホール（丹波市柏原町柏原5600）

開催方法 ハイブリッド（会場・オンライン） 日英同時通訳

プログラム

特別講演 「草の根からグローバルな目標へ：ベトナムにおける循環型・地域密着型のランドスケープを通じたネイチャーポジティブの推進」
ホー・ゴック・ソン タイグエン農林大学 教授

基調講演 「丹波地域におけるネイチャーポジティブの実現
に向けて 一課題と展望ー」

清野 未恵子 神戸大学大学院 准教授

事例発表 高橋 隆治 NPO法人バイオマス丹波篠山 理事長

足立 龍男 FORESTGROUP 代表

パネルディスカッション

コーディネーター

公益財団法人
地球環境戦略研究機関
関西研究センター

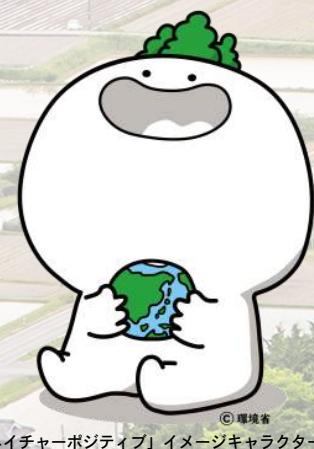
小嶋 公史 所長代理

パネリスト

ホー・ゴック・ソン 教授
清野 未恵子 准教授
高橋 隆治 理事長
足立 龍男 代表

ネイチャーポジティブ宣言

丹波県民局長、APNセンタープログラムディレクター



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
だいらボジー

登壇者プロフィール



ホー・ゴック・ソン タイグエン農林大学 教授

ベトナムのタイグエン農林大学教授。専門領域は先住民の知識と気候変動適応、森林管理、生物多様性保全。オーストラリア国立大学で博士号（地球環境変動）を取得。タイグエン農林大学での研究活動、大学生の指導に加えて、ベトナムの森林・持続可能開発研究所で国家気候変動専門家として、気候変動、森林管理、生物多様性保全に関する研究開発プロジェクトを主導している。

清野 未恵子 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授

2013年京都大学にて博士（理学）を取得。丹波篠山市の農都環境アドバイザーや兵庫県立人と自然の博物館協議会委員や日本靈長類学会理事を務める。

現在は神戸大学大学院人間発達環境学研究科にて、野生動物管理や環境教育及び自然共生システムを専門とし、持続可能な社会の実現に向けた教育・研究に従事。兵庫県丹波篠山市を主なフィールドとして、ニホンザルの生態や人と自然の関係性に関する研究を中心に、地域社会との協働による実践的な活動を展開している。



申し込み方法

【方法1】Web申込

参加無料！

QRコードまたはURLよりお申込みください。

URL→<https://forms.office.com/r/qpukeh7wT8>



【方法1】Web申込

【方法2】電子メール

下記の1.~4.を明記のうえ、お申込みください。

申込のメールが届きましたら、事務局から返信いたします。

メール送付先：tambakem@pref.hyogo.lg.jp

件名：「1月30日 丹波シンポジウム 申込」

本文：1.氏名・ふりがな・所属（自由記入）

2.住所・電話番号・メールアドレス

3.参加方法（会場またはWeb）

4.当シンポジウムを知ったきっかけ（チラシ・SNS広告など）



【方法2】電子メール

会場アクセス



「丹波の森公苑」で検索

会場住所：兵庫県丹波市柏原町柏原5600

○交通アクセス

1 公共交通機関をご利用の方

JR柏原駅から徒歩15分

2 高速道路をご利用の方

丹南篠山口ICから約25分

春日ICから約20分

問い合わせ先：兵庫県丹波県民局県民運動室環境課 0795-73-3773